



公明党  
ながお くにただ  
永尾 邦忠 議員

### 新型コロナワクチン接種

**Q** 接種状況は。  
**A** 65歳以上の高齢者の予約割合は約8割。各世代、8割以上の方に接種してもらいたい。

**Q** 9月中旬に希望者の接種を完了したいとの意向を確認しているが、計画は大丈夫か。  
**A** 接種率を8割としたとき、9月中にほぼ接種を完了するスケジュールを固めた。最終的な確約を医師会と行う。

**Q** 接する人数が多い教職員などへは早めの接種を進めてほしい。  
**A** 介護施設の従事者、保育園、幼稚園の職員、教職員などは優先接種。名簿を作成し進めていく。

**Q** ワクチンハラスメントの情報が入ったら早急に手を打ってほしいが、本市の状況は。  
**A** 接種の希望がない方に無理に接種させるのは問題。今のところ、市に情報は入っていない。

**Q** 公明党の秋野参議院議員は本市で10年超の医師経験がある。接種に来ていただいているだろうか。  
**A** チャンスがあれば、打ち手として参加してほしいと思う。

**Q** 新型コロナの影響による困窮世帯に対する応援を市も考えてほしいが、経済対策は何かあるか。  
**A** 緊急小口の融資、住居確保支援金の制度などがある。

**Q** 調査は行っているのか。  
**A** 行っていない。現状を把握する方法を研究したい。

### 生理の貧困

**Q** 生理用品の災害備蓄の考え方。  
**A** 災害備蓄は行っていないが、必要な項目に十分入れるものと認識。検討したい。

**Q** 学校の女子トイレに生理用品を設置する自治体も増えているが。  
**A** 現段階では保健室に常備。

**Q** 地域女性活躍推進交付金を活用し女性を守っていただきたい。  
**A** 女性用品の提供等を行うNPO法人等への支援制度。事業を実施するNPO法人等を確認したい。

**Q** その他の質問項目】  
◇若者の孤立・孤独対策について  
◇どうなる？本市の公共交通



バラの会  
ほんだ みえ  
本田 みえ 議員

### 行政改革が始まって36年、現状と課題

**Q** 施設の移譲、業務委託などで人員削減したが、その数値は。  
**A** 職員数は66人減少し、人件費は約4億7千万円減少。それ以外の事業費は71億5400万円増加。

**Q** 正規職員は減少したが、非正規職員は増加している。総合計では33名の増加であるが、その理由は。  
**A** 行政権限委譲で、業務が多種多様に発生したため、非正規職員を雇用し乗り切ってきたが、第5次計画では、適正な人員数を配置することを目標に取り組む。

**Q** 非正規職員であっても、責任の重い仕事をしている。正規職員を増やし、責任の分担、過重にならないようにして欲しい。  
**A** 必要な行政サービスは続けないといけないので、職員の採用も含め、全体的な状況を見て人事管理をやっていききたい。

### 公共交通の分岐点 市民目標の運営を

**Q** 島鉄バスの廃止路線、コミュニティバスの運行はどうなるのか。  
**A** 乗降場所をさらに増設し、AI機能を最大限活用することで、ルートや時間を定めずに希望があった乗降場所のみをつなぐ、よりタクシーに近い運行手法に切り替え、路線バス廃止エリアにおいても移動手段を確保していきたい。

### 4万人のごみ減量プロジェクト 目標達成の道のりは

**Q** 目標と現状は。  
**A** 4万人のごみ減量プロジェクトとして、一人1日当たりの燃やせるごみを850グラム以下、缶コーヒー約1本分の削減を目標。紙ごみの減量化として回収袋を配布。生ごみの水切りの推進のため、水切り隊を結成し、周知啓発を行う。生ごみの堆肥化では、有明ボカシの会と連携して、延べ41校で指導。今年度も2校を指導。

◇若者の孤立・孤独対策について  
◇どうなる？本市の公共交通